

# むくのきだより 1月号



令和5年1月11日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

## 新しい年を迎えて

園長 中村 美奈子

今年の東京の正月は、穏やかな日和となりました。赤羽幼稚園では、子供たちみんなで石臼でついた餅を丸めて鏡餅を飾り、正月を迎えました。

私は、正月に雑煮を食べると子供のころが思い出されます。小学生のとき、友達と冬休みの話をしているうちに、雑煮に何を入れるかという話になりました。友達から「お雑煮に味噌は入れないよ。」と言われ、私以外は皆、澄まし仕立ての雑煮を食べていることを知り、驚きました。その時、いろいろな雑煮があることを初めて知ったのです。

雑煮は、一年の無事を祈り、正月に食べる伝統的な日本料理です。日本各地で雑煮を食べる風習がありますが、だし・餅の形・具の種類は地方により違い、日本の食文化の豊かさを感じさせます。我が家の雑煮は父親のふるさとの味を受け継ぎ、白味噌仕立てで丸餅を入れたものでした。

小林一茶の句に、「去年の5月に生まれた娘に一人前の雑煮膳をすえて」と前書きされ詠まれたものがあります。

は  
這へ笑へ二つになるぞけさからは



子供の成長を喜び、無事を願う親の気持ちが伝わってきます。幼い頃は、笑った、寝返りができた、はいはいができた、立った…と、「できるようになること」が大人にとって気付きやすい事柄なので、成長を感じやすいのではないかと思います。それが、大きくなるに従い、成長が見えにくくなります。また、階段を一步一步上るように成長していく子供もいれば、じっくりと力を蓄え急にぐっと成長をする子供もいます。道のりは様々ですが、どの子供も成長途中であることは同じです。大人は、毎日できないことを数えるより、少し長い時間の中でできるようになったことを見つけて子供に気付かせるなど、子供の成長に寄り添い、支えていくことが大切であると考えます。

保護者の皆様、地域の皆様には、旧年中、本園の活動に温かいご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。本年も、教職員一同、子供たちの健やかな成長のため力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

